

京急発祥の地 川崎大師駅と1000形車両

用意するもの

カッター、カッターマット(カッターを使う時の下敷き)、はさみ、ピンセット、定規、接着剤(ペーパーボンドなど)、同封のペーパークラフトとシート(7枚)、厚紙(A4×2枚)

注意

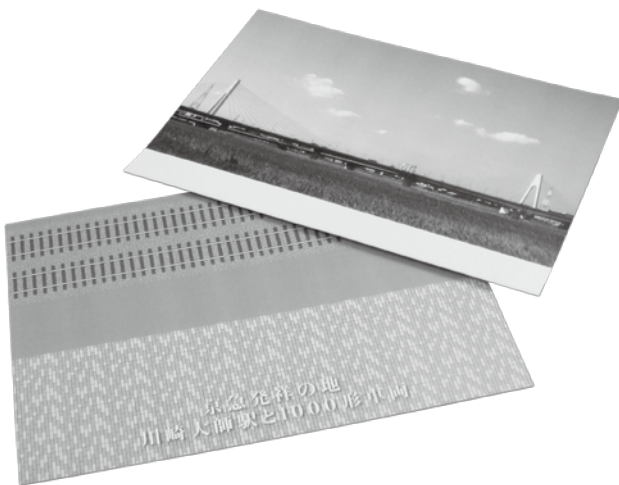
- ★カッターを使う時は、じゅうぶん注意してください。
- ★紙や接着剤を使いますので、火の近くでの組み立てはさけてください。
- ★直射日光、高温、多湿の場所での保管はしないでください。
- パーツを貼りつける時は、しっかりと接着するまで、しばらく指で押さえましょう。
- ペーパークラフトは、天候、湿度で伸縮による誤差が生じる場合があります。状況に応じて全体を調整してください。

組み立てのポイント “ゆっくり、落ちついて、ていねいに”

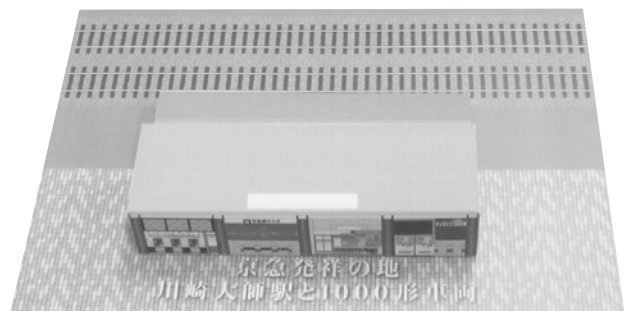
- 各パーツの切り取りは、カッターでていねいに切り離してください。
- のりしろの山折り部分は、あらかじめ先の尖った物で折り目を入れ、軽く折り曲げておくとうりやすいです。
- 接着剤がはみ出した時は、ヨウジなどを使ってこそげ落とすとキレイに仕上がります。
- パーツを貼りつける時は、しっかりと接着するまでしばらく指で押さえましょう。
- ペーパークラフトは、天候、湿度などで伸縮による誤差が生じる場合があります。状況に応じて全体を調整してください。

完成予想図と各シート内容を確認してください。各パーツは、1パーツごとにていねいに切り離しながら、のりしろ部分に接着剤(ペーパーボンドなど)をつけ、図の順番どおりに、組み立てていきます。

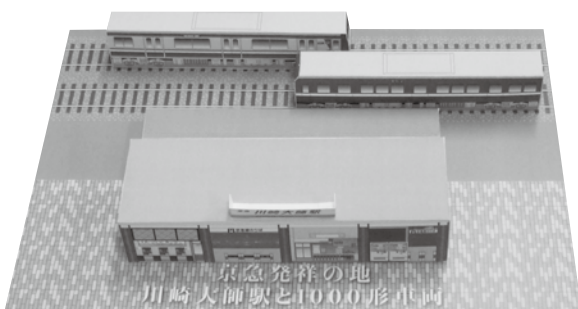
- 1 各パーツを組み立てます。ベース、バックを厚紙に貼ります。



- 2 駅舎とホームを貼りあわせ、ベースに接着します。

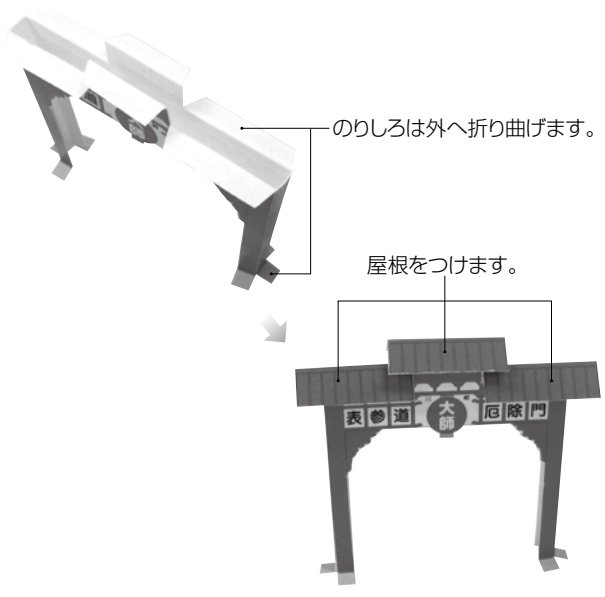
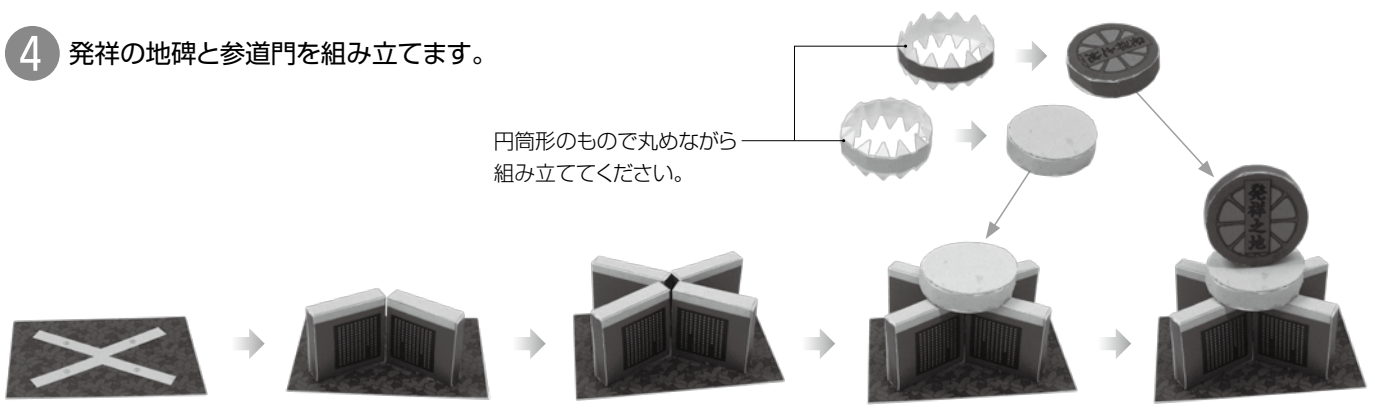


- 3 駅名看板を貼ります。電車をレール上に置きます。

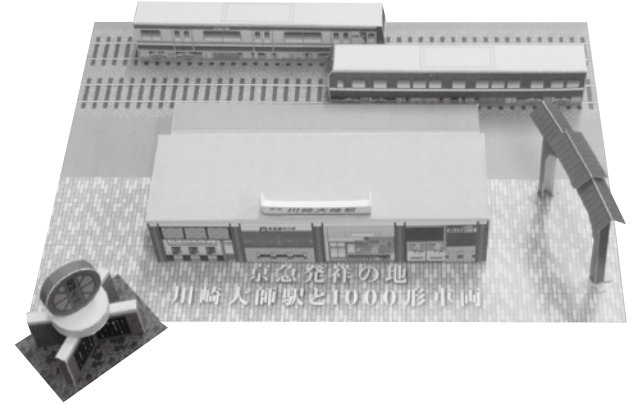


4 発祥の地碑と参道門を組み立てます。

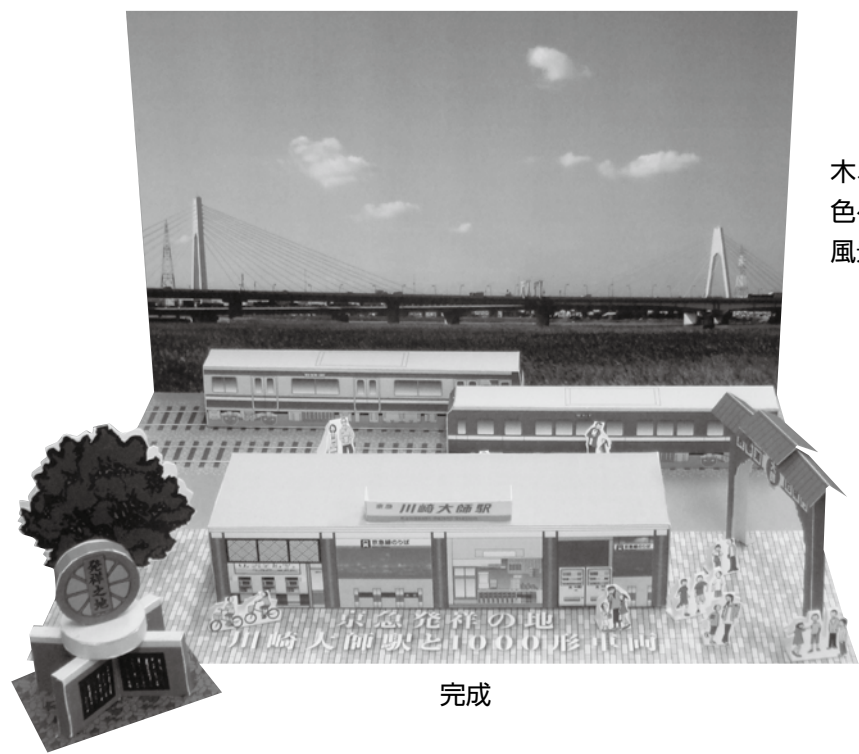
円筒形のもので丸めながら組み立ててください。



4 参道門をベースに貼りつけます。近景に発祥の地碑をおきます。



5 バックをベースに貼りつけます。



木、紙人形は台紙に貼りつけず、色々なところにおいて違った風景を楽しんでください。

完成